



外国出張報告書

平成 27 年 7 月 24 日

1. 出張国名 ラオス
2. 出張月 平成 27 年 5 月～7 月
3. 出張目的 低投入型水稲栽培管理技術および乾期水田高度利用技術の開発
 JIRCAS-NAFRI共同ワークショップへの参加：C

4. 成果の概要

水稲生育収量に及ぼすコウモリ糞の施用効果の把握を行うため、ポット条件での栽培試験を実施し、2種の供試土壌およびコウモリ糞の生産地の違いによる差異が大きいことを明らかにした。また、水田での鉄過剰害について検討を行い、易還元鉄と畑期間、土壌水分、微生物種類および基質添加の影響についてのデータを得た。さらに、ナムアン村において水田システムの展示を行う予定の水田およびその周辺水田のリン・窒素肥沃度の調査を行った。

ビエンチャン市内で開催された JIRCAS-NAFRI 共同ワークショップ（インドシナ農山村プロジェクト）に関して、現地で開催準備、運営を行った。また、NAFRI 側カウンターパートと連名で“水田農業の集約化と多様化に果たすコウモリ糞の役割”という演題で発表を行った。また、総合討論において司会を務めるとともに、“インドシナ農山村プロジェクトの成果と今後の展開”について講演した。